



# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 J-オイルミルズ  
コード番号 2613 URL <http://www.j-oil.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎田 純和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 立見 健一

TEL 03-5148-7100

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	91,622	9.6	2,557	45.5	2,546	41.4	1,289	60.5
23年3月期第2四半期	83,571	△5.3	1,757	△59.0	1,800	△56.8	803	△63.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,131百万円 (2,290.2%) 23年3月期第2四半期 49百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	7.72	—
23年3月期第2四半期	4.81	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	141,037	66,940	47.5
23年3月期	140,843	66,477	47.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 66,940百万円 23年3月期 66,477百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	10.4	7,300	71.3	7,200	70.3	3,900	117.1	23.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	167,542,239 株	23年3月期	167,542,239 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	618,344 株	23年3月期	616,489 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	166,924,861 株	23年3月期2Q	166,937,666 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と大きく異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第2四半期連結累計期間	
四半期連結包括利益計算書	9
第2四半期連結累計期間	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）に係る経営成績は、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、持ち直し傾向にあるものの、東日本大震災や、それに伴う原発事故、電力供給の制約等の影響により、依然として厳しい状況にありました。

製油産業におきましては、主原料である大豆のシカゴ相場は、期末付近の9月後半になって欧州財政危機問題の影響から値を下げたものの、期中においては概ね1ブッシェル当たり13～14米ドルの高値で推移しました。菜種のウィニペグ相場も、大豆相場と同様に、期末付近を除き概ね1トン当たり550～600加ドルの高値で推移しました。

このような環境の下、当社は、原料高騰に対し、価値に見合った製品価格を実現するため、得意先に対し粘り強く理解を求めるとともに、生産効率の上昇、物流コストや販売促進費の削減といったコストダウン活動に取り組みました。しかしながら価格改訂については、一定の進展はみているものの、震災による需要減や長引くデフレの影響により、当初表明していた水準にはいまだ達していない状況にあります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比9.6%増の916億22百万円、営業利益は前年同期比45.5%増の25億57百万円、経常利益は前年同期比41.4%増の25億46百万円、四半期純利益は前年同期に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額がなくなったことにより、前年同期比60.5%増の12億89百万円となりました。

当第2四半期におけるセグメントの営業概況は、次のとおりであります。

#### (製油事業)

油脂部門においては、価値に見合った製品価格の実現に取り組みました。

家庭用油脂は、「AJINOMOTO®健康サララ」と「AJINOMOTO®オリーブオイル」のテレビCMを行うとともに付加価値商品の拡販に努めた結果、販売数量は前年同期を下回ったものの、売上高は堅調に推移しました。

業務用油脂は、外食産業での需要低迷が影響して販売数量は微減となりましたが、“長く使える”をコンセプトとした「長調得徳®」シリーズは、ユーザーの支持を受けて堅調に推移しました。

加工用油脂は、顧客との取組強化を進めましたが、販売数量は前年同期を下回りました。

マーガリン部門においては、家庭用マーガリンは、3月に発売した「ラーマ®ソフト減塩」に続き、9月には「ラーマ®バター好きのためのマーガリン」を新たに発売し、販売数量は好調に推移しました。業務用マーガリンは、被災地向けの製菓・製パン類の需要増やコンビニエンスストア向け菓子類の需要増により、販売数量は堅調に推移しました。

油糧部門においては、輸入大豆ミールの大幅な増加に加え、震災や原発事故の影響による飼料・肥料需要の減少等から大豆ミール・菜種ミールの需要も低迷し、販売数量・売上高ともに前年同期をやや下回りました。

以上の結果、当事業の売上高は845億3百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は38億26百万円（前年同期比21.0%増）となりました。

## (その他)

飼料部門においては、東北地方の飼料メーカーが被災したことから当社への需要が大幅に増加したことや、乳牛用配合飼料を中心とした拡販活動等により、販売数量・売上高ともに前年同期を大きく上回りました。

スターチ部門においては、拡販を進めた米飯改質材「アミコート®」の販売数量が前年同期を大きく上回ったものの、震災後の需要減退の影響を受け、全体としては販売数量・売上高ともに前年同期を下回りました。

健康食品部門においては、主力製品「豊年®Nanoコラーゲン&ヒアルロン酸」の原料が震災により調達できなかったことが影響し、売上高は前年同期を下回りました。ビタミンK2 (MK-7) は、米国向けが好調で売上高は順調に推移しました。大豆蛋白を原料とするシート食品「まめのりさん®」は、米国・カナダ向けに拡大しており、売上高は順調に推移しました。

化成品部門においては、主たる需要家である建材業界では、震災の仮需要等により新設住宅着工戸数が堅調に推移しましたが、石油化学系原料は大手化学メーカーの被災により一時的に大きく値上がりしました。このような状況の下、一部製品の価格是正の実施等により、売上高は前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、その他の売上高は71億18百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は2億72百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は、前期末と比べ1億94百万円増加し、1,410億37百万円となりました。主な増加は、商品及び製品が18億83百万円であります。主な減少は、現金及び預金が2億21百万円、原材料及び貯蔵品が5億96百万円、流動資産その他が4億18百万円、有形固定資産が6億38百万円であります。

負債は、前期末と比べ2億68百万円減少し、740億96百万円となりました。主な増加は、支払手形及び買掛金が6億96百万円、未払法人税等が3億14百万円、未払消費税等が3億63百万円であります。主な減少は、借入金合計が9億39百万円、災害損失引当金が2億31百万円、流動負債その他が5億81百万円であります。

純資産は、前期末と比べ4億63百万円増加し、669億40百万円となり、自己資本比率は0.3%増加しております。

## (連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前期末と比べ2億21百万円減少し、55億57百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益23億37百万円を計上し、減価償却費30億55百万円、売上債権の増加3億24百万円、仕入債務の増加6億96百万円、たな卸資産の増加12億88百万円、未払金及び未払費用の増加4億99百万円、未払消費税等の増加7億62百万円、法人税等の支払額5億78百万円などにより、53億40百万円のプラスとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、既存設備の維持・更新投資による支出などにより38億17百万円のマイナスとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払により17億43百万円のマイナスとなりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

製油産業におきましては、原料相場は、9月後半に入って大きく値を下げたものの、その後反騰するなど不安定な動きを続けており、中長期的には新興国の需要拡大等を背景に高止まりするものと予想されます。また、震災・原発災害の影響による配合飼料の需要悪化や安価な海外産ミールの流入等により、油脂の連産品であるミールの価格が下落しており、搾油採算は厳しい状況が続くものと予想しております。さらには、景気の先行き不安による節約志向等の影響から、販売数量の減少も予想されます。このような厳しい環境下ではありますが、価値に見合った製品価格の実現を目指して引き続き得意先に対し理解を求めるとともに、提案型営業の推進やコストダウン等の取り組みを通じて、予想業績の達成を目指し粘り強くチャレンジしてまいります。

以上により、当期の業績予想につきましては、売上高1,900億円、営業利益73億円、経常利益72億円、当期純利益39億円を見込んでおります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,778	5,557
受取手形及び売掛金	33,621	33,946
有価証券	8	8
商品及び製品	13,167	15,051
原材料及び貯蔵品	17,152	16,556
繰延税金資産	1,359	1,441
その他	2,353	1,935
貸倒引当金	△15	△12
流動資産合計	73,425	74,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,346	12,290
機械装置及び運搬具（純額）	19,928	19,182
土地	20,047	20,047
建設仮勘定	2,095	2,390
その他（純額）	1,586	1,455
有形固定資産合計	56,004	55,366
無形固定資産	619	521
投資その他の資産		
投資有価証券	9,347	9,553
長期貸付金	383	330
繰延税金資産	204	12
その他	994	909
貸倒引当金	△136	△137
投資その他の資産合計	10,792	10,667
固定資産合計	67,417	66,555
資産合計	140,843	141,037



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,979	15,676
短期借入金	17,690	18,190
1年内返済予定の長期借入金	2,733	7,645
未払法人税等	592	906
未払消費税等	9	373
賞与引当金	782	828
役員賞与引当金	41	20
災害損失引当金	300	68
その他	11,457	10,875
流動負債合計	48,586	54,585
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	10,570	4,218
繰延税金負債	3,654	3,630
退職給付引当金	2,874	2,893
役員退職慰労引当金	252	261
環境対策引当金	122	175
長期預り敷金保証金	2,034	2,139
その他	1,270	1,193
固定負債合計	25,778	19,511
負債合計	74,365	74,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	31,633	31,633
利益剰余金	23,368	23,990
自己株式	△210	△210
株主資本合計	64,791	65,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,653	1,676
繰延ヘッジ損益	54	△118
為替換算調整勘定	△22	△30
その他の包括利益累計額合計	1,685	1,528
純資産合計	66,477	66,940
負債純資産合計	140,843	141,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	83,571	91,622
売上原価	69,824	77,152
売上総利益	13,747	14,469
販売費及び一般管理費	11,990	11,911
営業利益	1,757	2,557
営業外収益		
受取利息	6	3
受取配当金	91	150
持分法による投資利益	93	—
雑収入	73	64
営業外収益合計	265	219
営業外費用		
支払利息	180	165
持分法による投資損失	—	30
雑支出	40	34
営業外費用合計	221	230
経常利益	1,800	2,546
特別利益		
固定資産売却益	12	0
投資有価証券売却益	0	1
関係会社清算益	88	—
貸倒引当金戻入額	24	—
受取保険金	—	52
特別利益合計	125	54
特別損失		
固定資産除却損	226	100
固定資産売却損	1	0
減損損失	82	84
投資有価証券評価損	17	4
投資有価証券売却損	—	0
会員権評価損	0	1
リース解約損	3	18
環境対策引当金繰入額	1	53
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	314	—
特別損失合計	648	263
税金等調整前四半期純利益	1,277	2,337
法人税、住民税及び事業税	451	887
法人税等調整額	23	160
法人税等合計	474	1,047
少数株主損益調整前四半期純利益	803	1,289
少数株主利益	—	—
四半期純利益	803	1,289

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	803	1,289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△480	25
繰延ヘッジ損益	△256	△173
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	△9
その他の包括利益合計	△753	△157
四半期包括利益	49	1,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49	1,131
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,277	2,337
減価償却費	3,171	3,055
減損損失	82	84
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	△1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△55	19
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△61	9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△124	45
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21	△20
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	—	53
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△231
受取利息及び受取配当金	△98	△154
支払利息	180	165
持分法による投資損益 (△は益)	△93	30
固定資産売却損益 (△は益)	△10	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△0
関係会社清算損益 (△は益)	△88	—
受取保険金	—	△52
固定資産除却損	226	100
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	314	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	17	4
売上債権の増減額 (△は増加)	3,994	△324
たな卸資産の増減額 (△は増加)	543	△1,288
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,171	696
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△571	499
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△411	762
その他	807	138
小計	4,900	5,927
利息及び配当金の受取額	119	161
利息の支払額	△199	△169
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,228	△578
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,591	5,340

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,861	△3,434
有形固定資産の売却による収入	665	0
有形固定資産の除却による支出	△248	△200
無形固定資産の取得による支出	△106	△26
有価証券の売却による収入	1	—
投資有価証券の取得による支出	△12	△218
投資有価証券の売却による収入	0	33
関係会社の整理による収入	168	—
短期貸付金の増減額 (△は増加)	0	△0
長期貸付けによる支出	△2	△1
長期貸付金の回収による収入	4	28
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,391</b>	<b>△3,817</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	500
長期借入金の返済による支出	△1,426	△1,408
リース債務の返済による支出	△184	△168
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1	△0
配当金の支払額	△667	△667
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,479</b>	<b>△1,743</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>—</b>	<b>△0</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,279	△221
現金及び現金同等物の期首残高	9,032	5,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,753	5,557

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	製油事業				
売上高					
外部顧客への売上高	76,715	6,856	83,571	—	83,571
セグメント間の内部売上高 又は振替高	101	20	122	(122)	—
計	76,817	6,876	83,693	(122)	83,571
セグメント利益	3,161	251	3,413	(1,655)	1,757

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料・スターチ・栄養補助食品・化成品の製造、加工、販売、ならびに不動産賃貸等の各種サービス等が含まれております。
2. セグメント利益の調整額△1,655百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,655百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	製油事業				
売上高					
外部顧客への売上高	84,503	7,118	91,622	—	91,622
セグメント間の内部売上高 又は振替高	150	20	170	(170)	—
計	84,653	7,138	91,792	(170)	91,622
セグメント利益	3,826	272	4,098	(1,540)	2,557

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料・スターチ・栄養補助食品・化成品の製造、加工、販売、ならびに不動産賃貸等の各種サービス等が含まれております。
2. セグメント利益の調整額△1,540百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,540百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。